

項目	説明	
試料・情報の 利用目的 及び 利用方法	研究課題名	当院における術後アベマシクリブ投与症例の検討
	研究対象者	ホルモン受容体陽性 HER2 陰性再発高リスク乳癌と診断された患者さんのうち、2021年12月から2025年3月までに、神奈川県立がんセンターで術後補助療法としてアベマシクリブを導入された方で、包括同意を取得した方
	研究目的	ホルモン受容体陽性 HER2 陰性再発高リスク乳癌に対する術後アベマシクリブの投与は、高い有効性があるものの、副作用等のために減量や中止を余儀なくされる場合があります。当院での投与状況を研究することにより、患者さんに十分な治療を受けていただくために必要なマネジメントや再発例に対する戦略について検討します。
	研究方法	電子カルテ上の記録、検査記録から後ろ向きに研究を行う
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2026 年 6 月 22 日～西暦 2026 年 7 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 []西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載: _____)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載: _____)
	[レ]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[]生年月日、[X]性別、 []既往歴、[]併存疾患、[]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[]ゲノムデータ、[]看護記録、[]その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	乳腺外科 磯田まや
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター 乳腺外科 磯田まや (045-520-2222) 利用停止のお申し出は 2026 年 6 月 24 日までお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	